

土魂風才

【本年度の学校経営方針】 Challenge to Change

～持続可能な社会を目指して～ Well-Beingな社会へ

「変化への挑戦」～Try & Error & Solution



2学期の授業改善に向けて

【教職員 校内研修の様子】

自分らしく生きる ～ マイノリティとマジョリティ



9月に入り、少しずつ暑さも緩やかになってきました。朝晩も北海道らしく涼しくなり、過ごしやすくなりました。学校も2学期がスタートし、定期テストや後期生徒会に切り替わる準備など…。早々に、様々な事業があり、落ち着いた状況です。2学期は4ヶ月と長丁場になりますが、1学期＆前期の振り返り・反省をしながら、更なる、各種教育活動の充実に尽力して参りたいと思います。

さて、3年生の総合的な学習の取組として、土幌町探究学習を進めています。1年生から系統的にふるさと学習を進めており、3年生では「土幌町の魅力発信」をテーマに、修学旅行での楽天本社にて土幌町PR活動などを展開。2学期からは、その一連の流れの中で、「戻りたいと思う土幌の町」を課題とし、地域の皆様の願いや思い、高木町長さんとの「しほろみらいトーク」など、土幌のまちづくりについて考えていきます。

これ活動を通して、地域の皆さんとお話をする機会があり、まちづくりを考える上で「自分らしく生きることが出来る環境づくり」が一つ大きなテーマであると実感しました。現在、ソサエティ5.0の時代の中で、新たな価値や意味を見だし、人としてより豊かな社会を創造していくことは大きな課題となっています。マイノリティとマジョリティの二項対立ではなく、多様性と包摂性が真に尊重され、誰もがウェルビーイングとなれる社会。性別や年齢、立場を問わず、チャレンジできる環境。いつでも学べ・学び直しができる環境、そして、何よりも人と人のつながりや温もりを感じられる社会（ふるさと）。いつでも、温かく受け入れられ、自分を生かし生かされる居場所がある所こそ、戻ってきたい…住み続けたいと思う場所ではないでしょうか。

そう考えるとすれば、義務教育段階での役割…。「学び続けることの大切さ」や「異なる価値観や考えをもった他者を尊重すること」、「地域の多様な人や歴史・文化に触れる学習の機会」等、教科指導のみならず総合的な学習や行事等を通して、教科横断的（個々の教科が異なる教科や各種教育活動と関連付けること）な視点を持ちながら、特色ある教育課程を編成・実現することの必要性を改めて実感した次第です。

更に、地域にある人・もの・組織等の豊富なリソース（資源）を効果的に活用・つなげ、力をお借りすることも必要となります。本町には、お陰様で、CSコーディネーター（服部茉矢さん）を配置していただいております。少しずつではありますが、地域とのつながりのある教育活動を実践させていただいております。

本校の子どもたちは素直で優しくとても素敵です。一方、受け身的で周囲の様子や目を気にする傾向もあります。周りの様子を伺いながら、バランスをとりながら生活できることは、決して悪いことではありませんが、集団の中で自分らしさ（自分の意志や思い）を出せないで、生きづらさを感じているお子さんがいるかもしれません。同調圧力や全体指導等で個々の良さや個性が消されないよう、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適で協働的な学び」「子どもの意見表明の尊重」等を通して、子どもたちの心理的安全性・配慮が担保され、学校・家庭・地域と連携・協働した教育活動を引き続き、取り組んで参ります。

9月行事予定

2学期がスタート。12月25日(木)からの冬休みまで約4か月。3年生は進路の準備として大切な時期。1・2年については、学習・生徒会・部活動、充実し期間となります。頑張れ、中央中生！！

期 日	主 な 行 事	期 日	主 な 行 事
2日(火)	防災訓練(防災マスター指導)	17日(水)	校内研修 第2回学校運営協議会
3日(水)	前期期末テスト	19日(金)	3年「高木町長さんふれあいトーク」(総合) 町子ども発達相談センター講演会
5日(金)	生徒会役員選挙	24日(水)	生徒会活動日
9日(火)	3年「今の土幌町ってどんなところ」(総合)	25日(木)	英検IBA スクールカウンセラー来校
10日(水)	3年学力テスト(総合A) 1年酪農体験学習(総合) & 11日	26日(金)	英検IBA スクールカウンセラー来校
12日(金)	芸術鑑賞(楽しく学ぶ歌舞伎) 3年「町の課題とこれから」(総合)	10月3日(金)	第58回文化祭
16日(火)	3年保育実習(町子ども園) & 17日	7日(火)	教育相談①

※(総合)⇒「総合的な学習」で多くの地域の方との学習が予定されています。

栄光の軌跡

8月に入り、多くの部で3年生が引退し、新チームでの各種大会が開催されています。各学校の部活動数が減少し、方面での大会開催が厳しい状況になっています。とは言え、貴重な公式戦の中で、現段階で最高のパフォーマンスを発揮しています。

第42回全日本少年軟式野球 北海道大会 Best16

春の十勝大会で3位となり、北海道大会の出場権を獲得。7月19日～21日の3日間、帯広で開催され、1回戦伊達市立光陵中学校に11対3で勝利。2回戦で計根別学園・中標津中学校に2対13で惜敗いたしました。

全十勝秋季野球大会 ～4校の合同チームへ～

秋季からこれまでの3校連合チームから、下音更中学校を含めた4校となりました。初戦、足寄・本別・勇足・陸別チームに1対8で敗戦しました。

北部方面秋季サッカー大会 第3位

秋季から北部のサッカー大会も3チームとなりました。総当たりでの対戦で2試合を行い、0対1(緑南・音更)。0対3(下音・共栄・駒場)に敗戦しました。

北部方面バレーボール大会 準優勝

4チームトーナメントで対戦。初戦はセットカウント2-0で音更中に勝利。決勝で、十勝強豪校の下音更中と対戦し、0対2で惜敗しました。

北部方面秋季バドミントン大会 個人・団体で多数入賞

団体で男女とも準優勝。個人戦においても、男子はシングル準優勝&3位、ダブルス準優勝&3位。女子は、ダブルス準優勝&3位となり、それぞれ優秀な成績をおさめました。

十勝地区カブスリーグU-15 最終節

3年生にとっては、現在のメンバー試合をするのも最後となる試合。最後まで走りきり、全力でプレーする姿は素晴らしかったです。

U15バスケットボール十勝地区予選

今大会まで選出として活動し、最後に札内東中に勝利したことは大きな意味があったと思います。本当によく頑張りました。お疲れ様でした。

※方面大会開催も各競技ともチーム数の減少により厳しい状況となっています。合同チームも多くなり、保護者の皆様に日常の練習等にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。有り難うございます。

